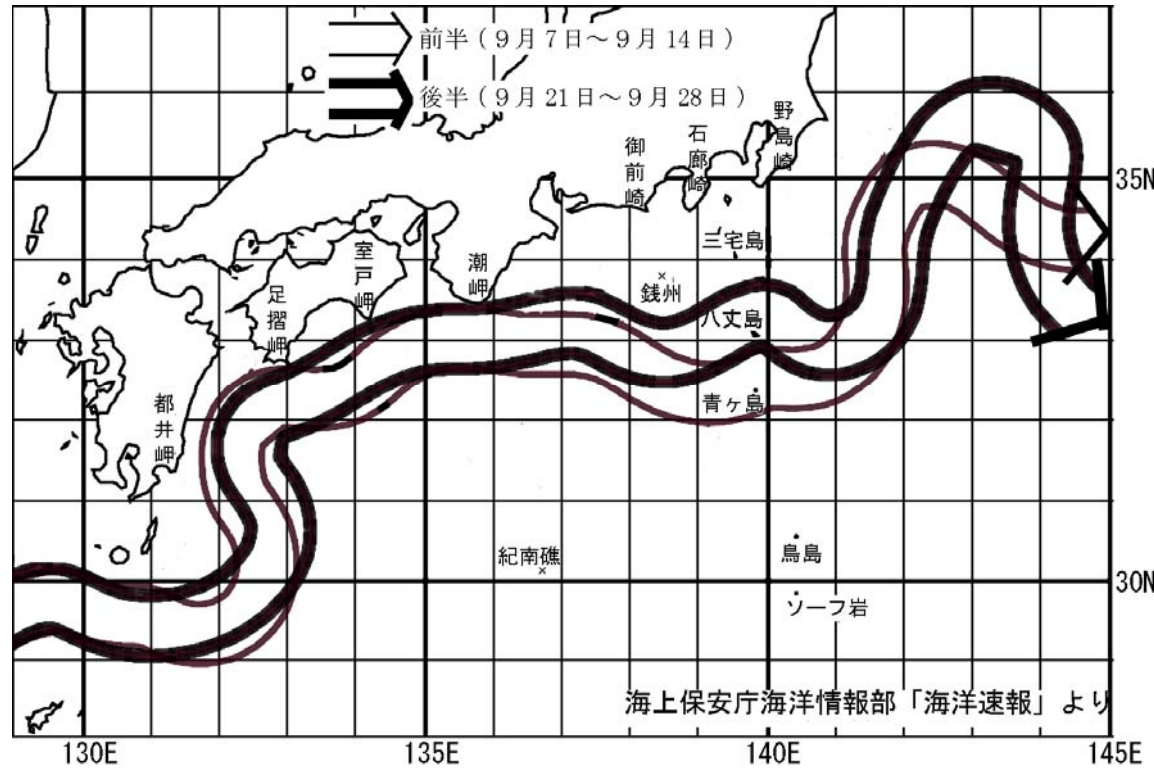


# 漁海況月報

平成21年 9月 1日

No. 9 ~9月30日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	23.6	24.8	24.1	24.3	24.1	24.9	25.4
	-1.1	0.3	-0.5	-1.6	-1.6	-0.5	-0.1
中旬	22.8	23.5	23.2	23.4	24.0	24.2	23.5
	-1.4	-0.5	-1.0	-1.7	-1.0	-0.2	-1.2
下旬	22.6	23.6	23.2	23.4	23.4	23.9	23.4
	-0.5	0.1	-0.3	-0.9	-0.2	0.4	-0.2
月	23.0	24.0	23.5	23.7	23.8	24.3	24.1
	-1.0	0.0	-0.5	-1.4	-0.9	-0.1	-0.5

## 【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州の都井岬南東沖および四国の土佐湾沖で小蛇行し、潮岬沖では接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖33°N付近を東進し、御前崎沖から南東に向かい青ヶ島付近を通り、伊豆諸島東の141.5°Eを北上した。

月後半は、九州の都井岬南東沖では引き続き小蛇行したが、四国沖から潮岬沖では接岸傾向で流れた。潮岬以東では、伊豆諸島の東西で小蛇行しながら33°N付近を東進した。前半に比べ遠州灘から伊豆諸島海域では接岸傾向が顕著で、八丈島では約50マイル接岸した。房総沖では引き続き離岸傾向で流れた。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では22~25°C台、駿河湾の東部では22~24°C台、西部では23~26°C台で経過し、相模湾側、駿河湾側ともに平年並み~低めであった。伊豆諸島を中心に24°C以下の冷水域が分布した。一方、上旬~中旬には房総沖から三宅島付近、下旬には遠州灘から駿河湾沖に25°C以上の暖水が波及した。

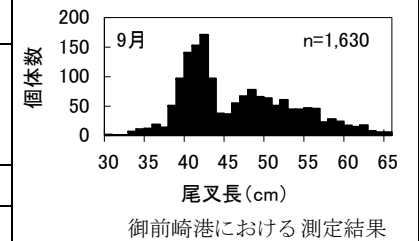
## 【竿釣近海カツオ】

9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は61トで前年同期とほぼ同じであった。魚価は335円/kgで、前年同期を上回った。

静岡県近海では上・中旬は31°~33°N、139°~140°Eの青ヶ島、ハロース等、下旬は御前崎沖に波及した暖水の先端付近(34°30'N、138°10'E)で、極小(尾叉長42cmモード)、小(尾叉長48cmモード)、中大カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
21年 9月上旬	18	5	3.6	448
中旬	24	10	2.4	342
下旬	19	12	1.6	221
21年 9月計	61	27	2.3	335
20年 9月計	60	19	3.2	313
19年 9月計	74	18	4.1	341



(平成21年から沿岸と近海竿釣り船を合計した値を載せます。)

## 【定置網】

9月の伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は383トンで、操業がなかった伊豆山、赤石を除く1漁場当たり水揚量63.8トンは前年35.0トン(6漁場)の182%、平年値(昭和57~平成20年)46.5トンの137%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類146.1トン(A:前年同月比445%、B:平年同月比111%)②ワカシ96.4トン(A:3731%、B:2960%)③マルソウダ60.9トン(A:225%、B:110%)④ヤマトカマス26.1トン(A:前年126%、B:110%)⑤サバッコ22.2トン(A:1798%、B:126%)の順であった。

サバ類は北川、川奈を中心にゴマサバ主体で入網し、サバッコは川奈中心に入網し、サバ類と子サバはともに同じサイズで、尾叉長のモードは23cmにみられた。ブリのうち2009年級群であるワカシ銘柄は古網、北川、川奈中心に入網し、昭和57年以降の最高値の8倍に及び、尾叉長のモードは32cm

にみられた。また、2008年級群が中心のイナダ銘柄は富戸、古網中心に入網し、尾叉長のモードは57cmであった。マルソウダはヒラソウダ混じりで北川、谷津を中心に入網し、マルソウダの尾叉長のモードは27cmにみられ、ヒラソウダの尾叉長のモードは26cmと34cmにみられた。ヤマトカマスは北川、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは25cmであった。

漁場別水揚量は、北川104トン（サバ類、マルソウダ、ワカシ、ヤマトカマス中心）、古網97トン（ワカシ、マルソウダ、ヤマトカマス中心）、川奈86トン（サバ類、サバッコ、ワカシ中心）の順であった。

### 【サバたもすくい・棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってゴマサバ409トン（前年同月比50%）が水揚げされた。ゴマサバの1隻あたり水揚量は34.0トン/隻（前年同月比100%）、平均単価は38円/kgで前年同月（51円）、前月（50円）を下回った。

棒受網の漁場は三本に形成され、22～24cmモードのゴマサバ0歳魚（2009年級群）主体に28～30cmモードの同2歳魚（2007年級群）、1歳魚（2008年級群）が漁獲された。混獲されたオアカムロは32cmモードの群と23cmモードの新規加入群がみられた。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
21年9月上旬	0	19	1	1	0.0	18.5	—	41	三本
中旬	0	193	3	5	0.0	38.5	—	38	三本
下旬	0	197	3	6	0.0	32.9	—	38	三本
21年9月計	0	409	7	12	0.0	34.0	—	38	—
20年9月	0	816	12	24	0.0	34.0	—	51	三宅三本
19年9月	0	576	10	18	0.0	32.0	—	58	三本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

### 【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が331kg、遠州灘が377kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は362kgと前年同期(290kg)の125%、平年同期（過去5か年平均：356kg）の102%と前年を上回ったものの前年並みであった。また、総水揚量は767.1トンで前年同期(538.7トン)の142%、平年同期(792.1トン)の97%と前年を上回ったものの前年並みであった。平均単価は631円/kgで、平年同期（815円/kg）を下回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	44.4	15	175	254	497
舞 阪	201.6	14	605	333	654
福 田	215.9	17	457	472	534
御前崎	80.2	17	200	401	512
吉 田	102.6	14	329	312	613
静 岡	122.3	16	351	348	905
平成21年9月計	767.1		2,117	362	631
平成20年9月計	538.7		1,857	290	863
平成19年9月計	718.9		2,160	333	744

### 【まき網】

小川港ではマイワシが0.3トンの水揚げで平年同期（93.9トン）の0.3%であった。沼津港では、マイワシが0.6トンの水揚げで平年同期（84.5トン）の0.7%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期は3.8トン）。静浦港では、マイワシが0.3トンの水揚げで平年同期（5.1トン）の6.4%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期は95.1トン）。伊東港ではマイワシが28.2トンの水揚げで平年同期（7.2トン）の3.9倍であった。カタクチイワシの水揚げは163.8トンであった。

注) 平年同期：過去5か年(2004～2008年)平均

### 【調査船の動向】

富 士 丸

9月 1日 ～ 9月 18日 第4次航海（天皇海山方面）（18日間）

駿 河 丸

9月 4日 ～ 9月 6日 地先定線観測（3日間）

9月 10日 ～ 9月 11日 短期海況・サクラエビ産卵・タチウオ調査（2日間）

9月 15日 ドック回航（清港ドック）（1日間）

9月 28日 小川港回航（1日間）

### 静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と  
関東・東海海況速報を見ることができます。

